

科目名		職業性腫瘍学実習	
科目責任者	河井 一明	(職業性腫瘍学 教授)	
担当者	李 云善	(職業性腫瘍学 准教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職業がんの予防に応用できる能力の修得のため、職業がんの歴史、原因物質、発がん機構を整理し、発がん性を予測する試験、発がん性化学物質の取り扱い、管理について実習をとして学び理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職業がんの歴史について調査し考察できる。</li> <li>2) 職業がんの代表的な原因物質について調査し考察できる。</li> <li>3) 発がんの一般的な機構について調査し考察できる。</li> <li>4) 遺伝子DNA損傷について調査し考察できる。</li> <li>5) DNA損傷の修復、突然変異について調査し考察できる。</li> <li>6) 発がん物質の体内動態(吸収・代謝・蓄積)について調査し考察できる。</li> <li>7) 発がん性を予測するin vitro試験について調査し考察できる。</li> <li>8) 発がん性を予測するin vivo試験について調査し考察できる。</li> <li>9) 発がん性の定量的評価について調査し考察できる。</li> <li>10) 発がん性物質の定量的リスク評価について調査し考察できる。</li> <li>11) 発がん性物質の作業環境管理、作業管理について調査し考察できる。</li> <li>12) 健康管理、衛生教育について調査し考察できる。</li> </ol>			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
選択した実習テーマに関して、自ら計画し調査する手法の指導を行い、その結果のまとめ方や報告のしかたについて実践的な実習を行う。	河井 李
職業性腫瘍学領域を中心に、基礎実験及び変異原性解析法に関する研究指導を行う。	河井 李
職業性腫瘍学領域を中心に、基礎実験及び発がん性解析法に関する研究指導を行う。	河井 李
学会発表を通して、より高度なプレゼンテーション能力を身につける。	河井 李